

栄村総合振興計画【基本構想】 新旧対照表

頁	【修正前】	頁	【修正後】
1	しかし、震災以降、村の人口減少に歯止めがかからず、平成 27 年国勢調査では 1,953 人、令和 2 年国勢調査（暫定値）では 1,667 人にまで減少していることから、 <u>村の将来の村づくりについて更なる対策が求められています。</u>	1	しかし、震災以降、村の人口減少に歯止めがかからず、平成 27 年国勢調査では 1,953 人、令和 2 年国勢調査（暫定値）では 1,667 人にまで減少していることから、 <u>一人でも多くの若者が村に住み、地域の活力となり、全ての村民が将来に自信と希望を持って暮らせる村を目指すため、更なる対策が求められています。</u>
1	村内においても豪雨や台風災害、夏の高温と冬の小雪といった異常気象に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、生活環境の変化やライフスタイルの多様化と価値観の変化等に伴い、時代に対応した行政運営や行政サービスの向上に取り組むことが必要です。	1	村内においても豪雨や台風災害、夏の高温と冬の小雪といった異常気象に加え新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、生活環境の変化や <u>ライフスタイルも多様化し価値観も変化している事から</u> 、時代に対応した行政運営や行政サービスの向上に取り組むことが必要です。
1	このような背景の中、前期基本計画が終了することに伴い、次期村づくりの基本的な施策の体系を示すため、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間の後期基本計画を策定するものです。	1	このような背景 <u>から</u> 、前期基本計画が終了することに伴い、次期村づくりの基本的な施策の体系を示すため、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間の後期基本計画を策定 <u>します</u> 。
3	2 基本目標 基本的な村づくりの目標を次のとおり設定し、行動していきます。 <u>(1) 活力ある村づくり（人口対策と産業振興）</u> <u>(2) 健やかに暮らせる村づくり（健康と福祉）</u> <u>(3) 豊かな心を育む村づくり（教育と文化）</u> <u>(4) 安心して暮らせる村づくり（生活基盤の整備）</u> <u>(5) 自律と協働の村づくり（集落支援と行政）</u>	3	2 基本目標 基本的な村づくりの目標を次のとおり設定し、行動していきます。 <u>(1) 持続可能な村づくり</u> <u>(2) 災害につよい村づくり</u> <u>(3) 活力ある村づくり</u> <u>(4) 健やかに暮らせる村づくり</u> <u>(5) 豊かな心を育む村づくり</u>
3 4	工事関係者が村を去り、その後、高度成長期に若者が流出したことにより一貫して減少を続けています。国勢調査では平成 27 年には 1,953 人でしたが、令和 2 年（暫定値）では 1,667 人と 286 人減少、一方、世帯数は、平成 27 年には 775 世帯でしたが、令和 2 年には 693 世帯となり、82	3 4	工事関係者が村を去り、その後、高度成長期に若者が流出したことにより一貫して減少を続け、 <u>令和 2 年国勢調査（暫定値）では人口 1,667 人まで減少しました。</u>

<p>世帯減少しました。</p> <p>5 Ⅳ 人口ビジョン(令和2年3月改訂 栄村人口ビジョンより抜粋) 1 栄村の人口ビジョン ・本村の人口の推移 平成27年国勢調査を基本とした平成30年3月発表の国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の統計情報を活用し総人口を推計すると以下のとおりとなります(図表1)。 今後も人口は減少傾向が続き、平成27年で1,953人あった人口も、令和12年には1,303人に、令和27年には833人まで減少すると推計されます。</p>	<p>5 Ⅳ 人口ビジョン(令和2年3月改訂 栄村人口ビジョンより抜粋) 1 栄村の人口ビジョン ・本村の人口の推移 平成27年国勢調査を基本とした平成30年3月発表の国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の統計情報を活用し総人口を推計すると以下のとおりとなります(図表1)。 <u>(削除)</u></p>																											
<p>8 栄村の将来展望人口</p> <table border="1" data-bbox="145 670 1075 821"> <tr> <th>平成27年(2015年)人口</th> <th>令和27年(2045年)目標人口</th> </tr> <tr> <td>1,953人</td> <td>1,000人</td> </tr> </table>	平成27年(2015年)人口	令和27年(2045年)目標人口	1,953人	1,000人	<p><u>(削除)</u></p>																							
平成27年(2015年)人口	令和27年(2045年)目標人口																											
1,953人	1,000人																											
<p>8 Ⅴ 総合振興計画における人口目標</p> <p>総合振興計画における人口目標を設定し、行動していきます。</p> <table border="1" data-bbox="190 997 1075 1252"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値(R2)</th> <th>目標値(R8)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標人口(長野県人口異動調査数)</td> <td>1,667人</td> <td>1,500人</td> </tr> <tr> <td>合計特殊出生率</td> <td>0.59%</td> <td>1.99%</td> </tr> <tr> <td>社会動態数</td> <td>△9</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値(R2)	目標値(R8)	目標人口(長野県人口異動調査数)	1,667人	1,500人	合計特殊出生率	0.59%	1.99%	社会動態数	△9	8	<p>8 Ⅴ 総合振興計画における人口目標</p> <p>総合振興計画における人口目標を設定し、行動していきます。</p> <table border="1" data-bbox="1220 989 2116 1284"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値(R2)</th> <th>目標値(R8)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標人口(長野県人口異動調査数)</td> <td>1,667人</td> <td>1,500人</td> </tr> <tr> <td><u>基準日:10月1日</u></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>年少人口数(0-15歳以下)</u></td> <td><u>107人</u></td> <td><u>119人</u></td> </tr> <tr> <td>社会動態数</td> <td>△9人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値(R2)	目標値(R8)	目標人口(長野県人口異動調査数)	1,667人	1,500人	<u>基準日:10月1日</u>			<u>年少人口数(0-15歳以下)</u>	<u>107人</u>	<u>119人</u>	社会動態数	△9人	8人
数値目標	基準値(R2)	目標値(R8)																										
目標人口(長野県人口異動調査数)	1,667人	1,500人																										
合計特殊出生率	0.59%	1.99%																										
社会動態数	△9	8																										
数値目標	基準値(R2)	目標値(R8)																										
目標人口(長野県人口異動調査数)	1,667人	1,500人																										
<u>基準日:10月1日</u>																												
<u>年少人口数(0-15歳以下)</u>	<u>107人</u>	<u>119人</u>																										
社会動態数	△9人	8人																										

9	V 施策の体系	V 施策の体系 全体構成見直し
10	<p>(1) 人口対策</p> <p>人口減少対策の一つとして、関係人口の拡大を目的に地域間交流を促進し地域外の人材と関係を築くことにより村の新たな活力につなげます。また、村内への移住定住を促進するため、地域おこし協力隊の積極的な活用や移住希望者への相談窓口の設置、住宅の斡旋、田舎暮らし体験の機会を提供します。</p> <p>移住・定住希望者への支援として、空き家の斡旋や住宅購入への支援など、総合的な住宅対策を進めます。</p> <p>少子高齢化対策として、特に若い世代の移住定住が重要です。進学や就職により村を離れた若者や、自然豊かな環境で田舎暮らしを求める人たちが住んでみたい魅力ある村づくりを進めます。</p> <p>結婚対策として、男女の出会いの場を提供したり、結婚後の生活が安定するよう支援するなど、結婚の希望を叶えるための施策を展開していきます。</p>	<p>(1) 人口対策</p> <p>少子高齢化対策として、特に若い世代の移住定住が重要です。進学や就職により村を離れた若者や、自然豊かな環境で田舎暮らしを求める人たちが住みたい魅力ある村づくりを進めます。</p> <p>移住・定住希望者への支援として、村営住宅の確保、空き家の斡旋や住宅購入への支援など、総合的な住宅対策を進めます。</p> <p>結婚対策として、男女の出会いの場を提供したり、結婚後の生活が安定するよう支援するなど、結婚の希望を叶えるための施策を展開していきます。</p> <p>また、村外者であるが地域や地域の人々と多様にかかわる「関係人口」の拡大を目的に地域間交流を促進し、地域外の人材と関係を築くことにより村の新たな活力につなげます。また、村内への移住定住を促進するため、地域おこし協力隊の積極的な活用や移住希望者への相談窓口の設置、住宅の斡旋、田舎暮らし体験の機会を提供します。</p>
10	<p>(2) 農林畜産業</p> <p>当村の主産業である農業は、農業従事者の高齢化と後継者不足という厳しい状況に直面していますが、豊かな自然と、清らかな雪解け水で育てられた水稻を中心に、安全安心な農産物の生産を支援し、消費者のニーズにも適応しながら農業の振興を図っていきます。</p> <p>また、意欲ある新たな農業者や生産組織の法人化を支援するとともに、新規就農者や担い手の育成などの相談や支援を行ない、特色ある生産や顔の見える販売といった取り組みを進め、やりがいのある農業となる施策を展開していきます。</p> <p>森林の果たす役割を再認識し、森林整備などにより森林を活用できる</p>	<p>(1) 農業・畜産業</p> <p>当村の主産業である農業は、農業従事者の高齢化と後継者不足という厳しい状況に直面していますが、豊かな自然と、清らかな雪解け水で育てられた水稻を中心に、安全安心な農産物の生産を支援し、消費者のニーズにも適応しながら農業の振興を図っていきます。</p> <p>また、意欲ある新たな農業者や生産組織の法人化を支援するとともに、新規就農者や担い手の育成などの相談や支援を行ない、特色ある生産や顔の見える販売といった取り組みを進め、やりがいのある農業となる施策を展開していきます。</p> <p>村内で育てられた肉牛は、ブランド牛「北信州美雪和牛」として高い評</p>

	<p>環境を整え、観光や農業などでの利活用を進めます。また、近年の異常気象による災害の発生を抑制するために、森林の持つ自然環境を維持する力を発揮できるよう整備し、林産物の活用など経済政策の一環としての振興を図っていきます。</p> <p>村内で育てられた肉牛は、ブランド牛「北信州美雪和牛」として高い評価を得ています。経営環境や販売体制を支援し、ふるさと納税の返礼品や村内施設での活用などを推進していきます。</p>	12	<p>価を得ています。経営環境や販売体制を支援し、ふるさと納税の返礼品や村内施設での活用などを推進していきます。</p> <p>(2) 林業</p> <p>森林の果たす役割を再認識し、森林整備などにより森林を活用できる環境を整え、観光や農業などでの利活用を進めます。また、近年の異常気象による災害の発生を抑制するために、森林の持つ自然環境を維持する力を発揮できるよう整備し、林産物の活用など経済政策の一環としての振興を図っていきます。</p>
11	<p>(4) 起業促進と企業誘致</p> <p>若者定住や少子化対策として、若者の雇用の確保に重点を置き、村内への企業誘致や通勤圏内での企業誘致を広域連携により進めています。村内での新規起業者を応援するために、用地の斡旋や税の優遇措置、起業に要する経費の補助などを講じていきます。</p> <p>再生可能エネルギー事業に取り組む村内林業団体や企業を支援し、豊富な地域資源の有効活用と雇用創出、定住の促進に結び付け、村の活性化を図ります。</p>	13	<p>(4) 起業促進と企業誘致</p> <p>若者定住や少子化対策として、若者の雇用の確保に重点を置き、村内への企業誘致や通勤圏内での企業誘致を広域連携により進めています。村内での新規起業者を応援するために、<u>相談支援</u>、用地の斡旋や税の優遇措置、起業に要する経費の補助などを講じていきます。</p> <p>(削除)</p>
11 12	<p>(3) 高齢者福祉</p> <p>さらに、高齢者のみなさんが、余暇活動のみならず社会貢献できる場も求められています。また、「老人クラブ」の枠を超えてさまざまな年代が共通に楽しめる活動も必要です。</p>	14	<p>(3) 高齢者福祉</p> <p>さらに、高齢者のみなさんが、余暇活動のみならず社会貢献できる場や「老人クラブ」の枠を超えてさまざまな年代が共通に楽しめる活動も必要です。</p>
12	<p>(4) 障がい者（児）福祉</p> <p>障害のある人が、地域の一員として共に生きる社会作りを目指し、障がい者の生活安定と社会参加を推進するため、個々のニーズに応じたサービスの充実を目指します。</p> <p>また、ボランティアの会などが中心となり地域との交流を積極的に行</p>	14	<p>(4) 障がい者（児）福祉</p> <p>障害のある人も、地域の一員として共に生きる社会作りを目指し、障がい者の生活安定と社会参加を推進するため、個々のニーズに応じたサービスの充実を目指します。</p> <p>また、ボランティアの会などが中心となり地域との交流を積極的に行</p>

	い、住民全員が障害に関する理解を深め、一緒に助け合いながら暮らしていく地域社会（ノーマライゼーション）の実現と環境整備を図ります。		い、住民全員が障がいに関する理解を深め、一緒に助け合いながら暮らしていく地域社会（ノーマライゼーション）の実現と環境整備を図ります。
12	<p>(1) <u>子ども教育</u> (追記)</p> <p>村民から要望の強い幼保連携型認定こども園について研究を進めていきます。</p> <p>(2) <u>社会教育・生涯学習</u> (3) <u>歴史と文化の保全・継承</u></p>	14	<p>(1) <u>子どもを育む</u> <u>保育園の段階から子ども一人一人の個性を尊重し、長所を伸ばしながら、小学校、中学校へと切れ目無く繋いでいく一貫した教育体制を研究し、進めていきます。</u> <u>栄村の豊かな自然環境を保育や学習に活かしていきます。</u></p>
13	<p>(5) <u>上下水道</u> 安全な飲料水を安定的に供給できるように、<u>定期的な水質管理を実施し、水源の確保や配水池など水道施設の整備及び維持管理に努めます。</u>特に、<u>導水管・配水管の更新時には、耐震性の高い素材を使用し整備を進めます。</u></p>	14	<p>(5) <u>上下水道</u> 安全な飲料水を安定的に供給できるように、<u>水質管理の徹底と、水源の確保や配水池など水道施設の整備及び維持管理に努めます。</u>特に、<u>導水管・配水管の更新時には、耐震性の高い素材を使用し整備を進めます。</u></p>
14	<p>(7) <u>生活安全対策</u> 広域連携による消防救急体制の維持・強化を図ります。消防団については、団員の減少や高齢化、村外勤務者の増加といった問題があるため、消防組織や諸行事を見直すことで改善を図ります。また、防災については、村内の危険箇所を把握し、対策を講じるとともに危機管理体制を整えます。</p>	12	<p>(5) <u>生活安全対策</u> 広域連携による消防救急体制の維持・強化を図ります。消防団については、団員の減少や高齢化、村外勤務者の増加といった問題があるため、消防組織や諸行事を見直すことで改善を図ります。また、防災については、<u>地震・豪雨・豪雪などあらゆる災害に備え、</u>村内の危険箇所を把握し、対策を講じるとともに危機管理体制を整えます。</p>
14	<p>(8) <u>自然保護と景観</u> 栄村が誇る豊かな自然環境や農山村にふさわしい親しみと落ち着きのある景観づくりのために、<u>乱開発による自然破壊を防止します。</u>また、村民と観光客への自然環境保護思想の普及に努めていきます。</p>	10 11	<p>(5) <u>自然保護と景観</u> 栄村が誇る豊かな自然環境を<u>保全すると共に、</u>農山村にふさわしい親しみと落ち着きのある景観づくりを<u>進めます。</u>また、村民<u>及び栄村を訪れる人</u>への自然環境保護思想普及に努めていきます。</p>

14	<p>(1) 集落支援と住民参加</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、村の人口は令和27年には833人まで減少すると推計されています。人口減少による集落機能の低下などを避けるためにも、地域おこし協力隊の採用による移住定住の促進や関係人口の創出など集落の主体的な活動を支援し、コミュニティの維持向上に取り組みます。また、集落との連携を強化し、住民と行政が協働して集落の課題を解決していくように努めていきます。</p>	10	<p>(2) 集落支援と住民参加</p> <p>(削除)</p> <p>人口減少による集落機能の低下などを避けるためにも、地域おこし協力隊の採用による移住定住の促進や関係人口の創出など集落の主体的な活動を支援し、コミュニティの維持向上に取り組みます。また、集落との連携を強化し、住民と行政が協働して集落の課題を解決していくように努めていきます。</p>
(新設)		11	<p>1 持続可能な村づくり</p> <p>(6) <u>社会変動対策</u></p> <p><u>地球温暖化対策として、村の資源を活用した再生可能エネルギー事業を推進するとともに、村民一人一人が自分で出来る取組みを実践することにより、二酸化炭素排出量の実質ゼロ社会の実現に向けて取り組んでいきます。</u></p> <p><u>時代に即した生活様式への対応や全ての村民が一人一人の多様性を理解し尊重し合える村を目指します。</u></p>

栄村総合振興計画【基本計画】 新旧対照表

頁	【修正前】	頁	【修正後】
全体			「重要業績評価指数（KPI）」は、「成果指標」と名称を変更し、各節の最後に移動
全体			5年間の重点施策について☆印を記載
15 16 17	第1節 1 関係人口の拡大 2 <u>移住・定住の促進</u> 3 住宅対策 4 結婚対策	16	<u>節以下の項目の記載順の入替え</u> 第1節 1 <u>帰住・移住・定住の促進</u> 2 住宅対策 3 結婚対策 4 関係人口の拡大
15 16	2 <u>移住・定住の促進</u> 【現状と課題】 （追記） 【施策の展開】 （追記） ・（追記）	17	1 <u>帰住・移住・定住の促進</u> 【現状と課題】 <u>・進学や就職などをきっかけに多くの子どもたちが村を離れています。</u> 【施策の展開】 <u>☆子どもたちが一度村を離れても、いずれは村に戻ってくるよう、ふるさとの素晴らしさを伝える教育に取り組むほか、住宅の確保など受け入れ体制の整備を進めます。</u> <u>・移住者の定住を促すため、移住後の支援にも取り組んでいきます。</u>
16	3 住宅対策 【施策の展開】 <u>・民間企業による賃貸住宅の供給を促す施策を検討します。</u>	16 17	2 住宅対策 【施策の展開】 <u>☆民間企業と協力して賃貸住宅の整備を進めます。</u>

17	第2節 農林畜産業	30 31	<p>林業を重視する観点から、分離して節立て</p> <p><u>第1節 農業・畜産業</u></p> <p><u>第2節 林業</u></p>
17	<p>1 農業</p> <p>【現状と課題】 (追記)</p> <p>【施策の展開】 (追記)</p>	30	<p>1 農業</p> <p>【現状と課題】</p> <p><u>・ 棚田地域振興法に基づく認定棚田地域振興活動計画の策定に取り組んでいます。</u></p> <p>【施策の展開】</p> <p><u>・ 中山間地域等直接支払交付金の棚田地域振興活動加算などを活用し、農地保全と農業生産の維持強化を図ります。</u></p>
19	<p>第3節 商工・観光業</p> <p>【施策の展開】</p> <p><u>・ 道の駅に併設する物産センターと農産物直売所の運営について、合理的な体制整備を進めます。</u></p>	32	<p>第3節 商工・観光業</p> <p>【施策の展開】</p> <p><u>☆道の駅に併設する物産センターと農産物直売所の合理的な運営体制整備を進め、道の駅エリアの施設を有効活用して集客を図ります。</u></p>
20	<p>3 スキー場</p> <p>【施策の展開】</p> <p><u>・ スキー場を利用した新たな冬の魅力作りとして、スキー、スノーボード以外の雪体験メニュー作りを進めます。</u></p> <p>(追記)</p>	33	<p>3 スキー場</p> <p>【施策の展開】</p> <p>☆スキー場を利用した新たな冬の魅力作りとして、スキー、スノーボード以外の雪体験メニュー作りを進め<u>誘客を図ります。</u></p> <p><u>・ 村民のためのスキー場であることから、村民がより一層利用しやすい環境を整え利用促進を図ります。</u></p>
21	<p>4 誘客・宣伝</p> <p>【施策の展開】</p> <p><u>・ 古道や里山を歩くコースの整備、千曲川を利用したラフティングなど、自然を体験する観光を進めます。</u></p>	33 34	<p>4 誘客・宣伝</p> <p>【施策の展開】</p> <p><u>・ 古道や里山の遊歩、千曲川を利用したラフティングなど、<u>村の魅力</u>を体験できる観光を進めます。</u></p>

22	<p>5 登山・キャンプ</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信越トレイルが開通し、観光資源として活用されています。 <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪国観光圏と連携し、湯沢～苗場山から栄村を結ぶスノーカントリートレイルの利用を進めます。 <p>(追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>飯山市や関係市町村と共同し信越トレイルの利用を促進します。</u> 	34 35	<p>5 登山・キャンプ</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信越トレイルや<u>スノーカントリートレイル</u>が開通し、観光資源として活用されています。 <p>【施策の展開】</p> <p>(削除)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岳観光を促進するため、登山者のための交通手段について検討します。 ・<u>関係市町村と連携を強化し、信越トレイルやスノーカントリートレイルの利用促進を図ります。</u>
22	<p>2 再生可能エネルギーの利用</p> <p>新たな施策体系「第1章 持続可能な村づくり」「第6節 社会変動への対策」「1 脱炭素化社会の実現」へ移動</p> <p>【施策の展開】</p> <p>(追記)</p>	21 22	<p><u>第6節 社会変動対策</u></p> <p><u>1 脱炭素社会の実現</u></p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>節電やエコドライブの実施、省エネ家電やエコカーへの買い替えなど家庭でできる取組みを推進していきます。</u>
24	<p>1 子ども福祉と母子保健</p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>小児を持つ保護者を対象に、保健師による家庭訪問と相談の実施や健康教育を行います。</u> 	36	<p>1 子ども福祉と母子保健</p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>乳児の保護者を対象に、保健師による家庭訪問と相談の実施や健康教育を行います。</u>
25	<p>3 健康増進対策</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>各種がん検診を実施し、検診受診率向上やがんの早期発見・早期治療につなげていますが、入院医療費の占める割合が上位であるため、更なる受診率向上の取り組みが必要です。</u> ・<u>各種感染症の予防接種を受けやすい体制づくりに努めています。</u> 	37	<p>3 健康増進対策</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>当村の国民健康保険被保険者では、総医療費に占めるがん治療に係る医療費の割合が高くなっています。各種がん検診を実施し、早期発見、早期治療につなげていますが、更なる受診率の向上が必要です。</u> ・<u>新型コロナウイルス感染症など、感染予防の徹底を図るとともに村民が</u>

<p>25</p>	<p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診及びがん健診等の受診率を向上することで生活習慣病の早期発見、早期治療で重症化予防に努めるとともに、健診結果を活かした保健師による保健指導や健康教育、各種相談を実施し、生活習慣病予防のための生活改善を支援します。 	<p>37</p>	<p><u>予防接種を受けやすい体制づくりに努めています。</u></p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆特定健診及びがん健診、<u>歯科検診</u>等の受診率を向上することで生活習慣病の早期発見、早期治療で重症化予防に努めるとともに、健診結果を活かした保健師による保健指導や健康教育、各種相談を実施し、生活習慣病予防のための生活改善を支援します。
<p>26</p>	<p>1 医療施設・医療体制の整備</p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の直営診療については、身近なかかりつけ医として治療やケアの枠組みにとらわれず、地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域住民の健康を支えています。 ・<u>小児</u>、感染症、救急医療については、広域での連携を<u>強めています。</u> 	<p>38</p>	<p>1 医療施設・医療体制の整備</p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆村の直営診療については、身近なかかりつけ医として治療やケアの枠組みにとらわれず、安心して暮らすことができるよう、地域住民の健康を支えています。 ・<u>小児医療</u>、感染症、救急医療については、広域での連携を<u>強化していきます。</u>

28	<p>2 介護保険と在宅生活支援</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターでは、個々の高齢者の相談を受け適切なサービスへ繋げていきます。 ・被保険者1人あたり給付費は年々増加していることから、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るように地域の支え合いや関係機関との連携が求められます。 →フレイル（虚弱）や低栄養などの高齢期課題に対して、一般介護予防事業などの集いの場において専門職との連携を推進し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が出来る期間（健康寿命）の延伸を図ります。 <p>【施策の展開】</p> <p>（追記）</p>	39 40	<p>2 介護保険と在宅生活支援</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターでは、個々の高齢者の相談を受け適切なサービスの提供へ繋がっています。 ・被保険者1人あたり給付費は年々増加していることから、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るように地域の支え合いや関係機関との連携が求められています。 <p><u>（削除）</u></p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>フレイル（虚弱）や低栄養などの高齢期課題に対して、一般介護予防事業などの集いの場において専門職との連携を推進し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が出来る期間（健康寿命）の延伸を図ります。</u>
28	<p>第4節 障がい者(児)福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>障害のある人が地域で安心して自分らしく暮らせるように、様々な課題について取り組みを強めることが必要になっています。</u> ・<u>障害の状況に応じた多様な働き方や就労定着支援が求められています。</u> ・<u>公共施設のバリアフリー化については、随時進めてきましたが、全ての施設で整備を行うことが困難であることから、再検討が必要です。</u> 	40	<p>第4節 障がい者(児)福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>障がいのある人が地域で安心して自分らしく暮らせるように、様々な課題について取り組みの強化が必要です。</u> ・<u>障がいの状況に応じた多様な働き方や就労定着支援が求められています。</u> ・<u>公共施設のバリアフリー化を進めてきましたが、全ての施設を整備することは困難であることから、再検討が必要です。</u>

30

第1節 子ども教育

重要業績評価指数 (K P I)		
	基準値 (R2)	目標値 (R8)
新体力テスト体力合計点	(R 元)	(県平均の 110%)
(小1) 男	39.25 %	43.18 %
(小1) 女	39.00 %	42.90 %
ベネッセ総合学力調査	全国平均比(R 元)	
国語 (中1 3 学期)	102%	110%
家庭学習形成度	69%	80%

1 教育施設の整備

【現状と課題】

- ・耐震化工事等により、村内のすべての学校は耐震化構造となっていますが、村内の保育園、小中学校は平成3年以前に建築されたものであり、施設の老朽化により、補修や更新が必要になっています。

【施策の展開】

- ・保育園から中学校までが連携し、つながりのある教育体制を行うための施策整備の研究を進めます。
- ・子どもたちの学習環境を保障するため、保育園、学校等の施設・設備の改修と ICT 関連機器の整備を計画的に進めます。

(追記)

43

第1節 子どもを育む

44

成果指標		
項目	基準値 (R2)	目標値 (R8)
小中学校が合同で行う 行事、授業	0回	4回

1 教育施設の整備

【現状と課題】

- ・耐震化工事等により、保育園、小中学校は耐震化構造となっていますが、全施設が平成3年以前に建築されたものであり、施設の老朽化により、補修や更新が必要になっています。

【施策の展開】

- ・☆施設の老朽化及び小人数に応じた、保育園、小中学校の施設整備の研究を進めます。
- ・ICT 関連の情報通信機器や設備等を計画的に整備していきます。
- ・休校の秋山分校の活用について、秋山地区のみなさんと協議し、将来につながる研究を進めます。

30	2 教育内容の充実	43	2 教育内容の充実
31	【現状と課題】	44	【現状と課題】
	(追記) (追記)		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>少人数化のなか、保小中が連携した教育体制の研究が求められています。</u> ・<u>社会の変容に対応するためには、これまでの学力、情操、体力といった基礎的な力に加え、自ら考え行動する力が求められています。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会を担う人間形成には、幼少期からの子どもたちの育ちの重要性を意識するとともに、地域交流を通じた多世代交流や他校、村外の同世代交流といったコミュニケーション能力や、地域資源を活用した学習環境が求められています。 →<u>与えられた情報を的確にとらえる読解力や理解力と、自らの意見を伝える表現力が求められています。</u> →<u>運動遊びや体験活動を通して探求心や忍耐力、主体性や意欲など生きる力を育むことが求められています。</u> ・持続可能な社会（SDG s）を実現するための教育の推進(ESD)が求められます。 ・保護者の就労及び生活環境の変化から、<u>保育時間の延長や未満児保育、学童クラブ等の需要が増えてきています。</u> 		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>幼少期からの子どもたちの育ちの重要性を意識するとともに、地域交流を通じた多世代交流や他校、村外の同世代交流といったコミュニケーション能力や、地域資源を活用した学習環境が求められています。</u> ・<u>これからの教育目標には、持続可能な社会（SDG s）を実現するための教育の推進(ESD)が求められます。</u> ・保護者の就労及び生活環境が<u>変わり</u>、保育時間の延長や未満児保育、学童クラブ等の需要が<u>高まっています。</u>
	【施策の展開】		【施策の展開】
	(追記)		☆ <u>子ども一人一人の個性を尊重し、長所を伸ばしながら、保育園・小学校・中学校へと切れ目なく繋いでいく教育体制の研究を進めます。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、地域が「あいさつ」を通して、お互いを認め合い、つながり、相手を思いやる心を育みます。 →<u>幼少期や学齢期に合わせた教育環境を整備すると共に、保育園、小中学校が連携した教育体制の研究を進めます。</u> 		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、地域が「あいさつ」を通して、お互いを認め合い、つながり、相手を思いやる心を育みます。 ・読み聞かせなど読書環境の充実を図り、絵本を介した親子の交流を深めるとともに子どもたちの理解力や表現力、想像力を養います。 ・<u>豊かな自然の中での遊びや花や木、虫などとの触れ合いを通して日常・</u>

31

○幼少期

- ・園外活動や栄村の文化に触れる機会を設け、地域と交わる保育を実施します。
- ・自然遊びや運動遊びの中から、五感を使いダイナミックに遊ぶ場を確保し、探究心や意欲、挑戦といった生きる力を育みます。
- ・読み聞かせなど読書環境の充実を図り、絵本を介した親子の交流を深めるとともに子どもたちの理解力や表現力、想像力を養います。
- ・野菜作りから始まる食育活動や自然の営みを意識した体験活動を通して、命の大切さに触れるとともに SDG s に通じた保育活動に取り組みます。
- 幼保連携型認定こども園も視野に入れた、栄村の保育ニーズへ対応できる体制づくりを進めます。
- ・未満児保育や延長保育にも対応した保育士の適切な人員を確保し、保育内容の充実に努めます。

○学齢期

- ・学校教育だけでなく、スポーツクラブや学童クラブ、青少年事業といった、地域における子どもたちの居場所づくりに努め、子どもたちが意欲的に他者と関わり、挑戦し、主体的に遊び学び合う環境づくりを進めます。
- ・ICT の使用を通して、個別学習やアクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）、他者との交流を充実するとともに、コミュニティスクールを通じた地域資源の活用や地域住民との直接交流を充実させます。
- ・読書活動を推進し、子どもたちの創造力や読解力、表現力を養います。
- スポーツや体験活動を通して、困難を経験し、子どもたちが自由な発想の中から課題を見出し、自ら考え、克服する力や挑戦する力を養い、心身を育みます。

44

集団生活に必要な習慣、思考力、道徳性の他に、探究心や意欲、挑戦といった生きる力を育みます。

- ・栄村の文化に触れる機会を設け、地域と交わる保育を実施します。
- ・ICT を活用した個別学習、協働学習を進め、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）による学力向上に努めます。
- ・「確かな学力」「豊かな人間性」「元気な体」を軸として、個性を伸ばし、多様な価値観に対応する「総合力」の育成に取り組めます。
- ・GIGA スクール構想で整備したタブレットを活用し、プログラミング的思考を伸ばしながら ICT を活用した他校との交流活動、遠隔共同学習を更に進めます。
- ・栄村の魅力を発信する学習において、コミュニティスクールを通じ、生徒の主体性を大切に地域交流や多世代交流を進めます。

- ・学校教育だけでなく、スポーツクラブや学童クラブ、青少年事業といった、地域における子どもたちの居場所づくりに努め、子どもたちが意欲的に他者と関わり、挑戦し、主体的に遊び学び合う環境づくりを進めます。
- ・野菜作りから始まる食育活動や自然の営みを意識した体験活動を通して、命の大切さに触れるとともに SDG s に通じた保育活動に取り組みます。
- ・保護者のニーズに対応するため、保育士や学童クラブ指導員の適切な人員を確保し、内容の充実を図っていきます。

・気候変動や生物多様性の喪失等現代社会における様々な問題を自らの問題として主体的にとらえ、解決に向けて自ら考え、身近なところから取り組む学習を推進します。

→利用者が増えている学童クラブは、子どもが安全で楽しい放課後の時間を過ごすことができるように、指導員の確保と資質向上、環境改善を図っていきます。

32 2節 社会教育・生涯学習

重要業績評価指数 (KPI)		
	基準値 (R2)	目標値 (R8)
人と人がつながる場	3回	5回

【現状と課題】

- ・時代の変容と共に、これまで集落を支えてきた「おたがいさま」の精神が弱まって希薄化しています。
- ・当事者意識の低迷により、行政や第三者に依存する傾向が見られます。
- ・少子高齢化や人口減少により、住民グループの活動が衰退しています。
- ・感染症の影響により、新しい生活様式での地域行事の開催が求められています。
- ・生活スタイルの変容により、これまで暮らしの中に当たり前にあった村の風習や暮らしの文化が失われつつあります。

【施策の展開】

(追記)

44 第2節 地域を育む

45

成果指標		
項目	基準値 (R2)	目標値 (R8)
講座の開催	3回	6回

【現状と課題】

- ・時代の変容と共に、これまで集落を支えてきた「おたがいさま」の言葉に代表される共助の意識が薄れてきています。
- ・当事者意識の低迷で自ら考え行動することを、何事も行政や第三者に依存する傾向がみられます。
- ・住民グループの活動が、少子高齢化や人口減少により衰退しています。
- ・新しい生活様式による感染症の対策が求められています。
- ・これまで暮らしの中に当たり前にあった村の風習や暮らしの文化が、生活スタイルの変容により失われつつあります。

【施策の展開】

☆村民一人一人が個性を発揮し、生き生きと暮らしてゆくために生涯を通

- ・栄村の環境や地域資源を見つめなおし、ここでの暮らしを楽しむ方法を考えます。
- ・スポーツや地域学習を通して、他地域、異年齢交流の場の確保を行います。

第3節 歴史と文化の保全・継承

33

重要業績評価指数 (K P I)		
	基準値 (R2)	目標値 (R8)
歴史文化等講座開催数	1回	5回

【現状と課題】

- ・村指定文化財、県指定文化財をはじめ、貴重な動植物や文化財が存在します。村民が関心を持ち、保全や後世に語り継ぐことが求められています。
- ・村民が昔から継承してきたわら細工や木工品などの技術や道具の記録をすることが求められています。

【施策の展開】

村の自然や文化・風習について理解を深め、栄村歴史文化館を次の世代へ継承するための拠点として活用します。

45
46

じた学習の場を提供します。

- ・異年齢の交流の場を、スポーツ活動や地域学習により確保します。

第3節 歴史と文化を育む

成 果 指 標		
	基準値 (R2)	目標値 (R8)
村宝 文化財指定数	9 件	12 件

【現状と課題】

- ・村指定文化財、県指定文化財をはじめ、貴重な動植物や文化財が存在します。村民が地域の宝として主体的に関心を持って保全し、後世に継ぐことが求められています。
- ・村民が昔から継承してきた、わら細工や木工品等の技術や道具の記録を残していくことが求められています。

【施策の展開】

村の自然や文化・風習について理解を深め、次の世代へ継承するための拠点として栄村歴史文化館を活用します。

	<p>→ 栄村自然植物園の維持管理を行い、栄村の豊かな自然を学習する場として活用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に完成した栄村誌をはじめ、苗場山麓ジオパーク、栄村希少動植物調査で明らかになった情報を講座や広報で発信するとともに、<u>村民が地域資源に関心を寄せて楽しむ機運を醸成します。</u> 社会の変容と高齢化により失われようとしている暮らしの文化や知恵の掘り起こし、記録・保存していきます。 	45	<ul style="list-style-type: none"> ☆<u>栄村誌をはじめ、苗場山麓ジオパーク、希少動植物調査などで明らかになった情報を広報で発信するとともに、古文書や発掘物等を活用した野外での講座を開催するなど、村民や小中学生が地域資源に関心を寄せて楽しむ機運を醸成します。</u> 高齢者による暮らしの文化や知恵の記録が失われないよう、保存していきます。
35	<p>第2節 公共交通</p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間バス会社に対し、津南線の運行維持のため財政支援をしていきます。 デマンド交通の利用状況を検証し、東部線・西部線・水内線・秋山郷線の利便性が向上するように検討します。 → 土日、祝日のデマンド交通のあり方について検討します。 	24	<p>第2節 公共交通</p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 湯沢線と津南線の運行維持のため、<u>利用者の利便性向上と路線バス運行補助を行います。</u> ☆<u>デマンド交通の利用状況を検証し、東部線・西部線・水内線・秋山郷線の利便性向上と、土日、祝日のデマンド交通のあり方について検討します。</u>
36	<p>2 住居、集落環境の改善</p> <p>【現状と課題】</p> <p>(追記)</p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障がい、疾病などのある方も安心して冬期間の生活ができるように、雪害対策救助員、道踏み支援員体制を継続します。 雪害を軽減するために「自助、共助、公助」の3つの力を合わせて、<u>村民と行政が協力して対策を進めます。</u> 	25	<p>2 住居、集落環境の改善</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>道踏み支援員については、高齢化などにより担い手の確保が難しい状況です。</u> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障がい、疾病などのある方も安心して冬期間の生活ができるように、雪害対策救助員、道踏み支援員<u>の確保を図り支援</u>体制を継続します。 村民と行政が協力して「自助、共助、公助」により、<u>雪害の軽減を図っていきます。</u>

37	<p>2 広報</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「広報さかえ」は、広報、公民館報、議会報、農業委員会だより、社会福祉協議会だよりを合冊して毎月発行し、村政に関する情報を発信しています。また、村公式ホームページ、ケーブルテレビを活用した告知放送、メール配信サービスなど、様々な手段を活用して村内外へ発信を行っています。今後も、多様な手段で情報を的確に提供する必要があります。 	26	<p>2 広報</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「広報さかえ」は、広報、公民館報、議会報、農業委員会だよりを合冊して毎月発行し、村政に関する情報を発信しています。また、村公式ホームページ、ケーブルテレビを活用した告知放送、メール配信サービスなど、様々な手段を活用して村内外へ発信を行っています。今後も、多様な手段で情報を的確に提供する必要があります。
38 39	<p>第5節 上下水道</p> <p>第6節 環境衛生</p> <p>新たな施策体系、「第4章 健やかに暮らせる村づくり」へ移動</p>	41 42	
40	<p>2 災害の防止</p> <p>【現状と課題】</p> <p>(追記)</p> <p>【施策の展開】</p> <p>(追記)</p>	27 28	<p>2 災害の防止</p> <p>【現状と課題】</p> <p><u>・長野県北部地震から10年が経過し、震災関連工事が続いていた県道箕作飯山線の改良や中条川の治水対策も完成しました。</u></p> <p>【施策の展開】</p> <p><u>・震災の経験を伝え、村民の防災意識の向上を図ることで地域防災力の強化を図ります。</u></p>
41 42	<p>第8節 自然保護と景観</p> <p>【現状と課題】</p> <p>(追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内は貴重な動植物が数多く生息していますが、温暖化や環境の変化、乱獲などにより減少が危惧されています。 	21	<p>第5節 自然保護と景観</p> <p>【現状と課題】</p> <p><u>・村民一人一人が栄村の豊かな自然の重要性を認識し、保全のための気運を高めていくことが大切です。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内は<u>希少</u>で貴重な動植物が数多く生息していますが、温暖化や環境の変化、乱獲などにより減少が危惧されています。

<p>42</p>	<p>(追記)</p> <p>【施策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希少動植物調査を行い、村内に生息する希少種の生息状況を<u>把握するとともに、多様な自然環境を保全していくための方針を定めます。</u> ・<u>住民に対し、栄村の自然環境を学ぶ機会を設けると共に、住民が主体的に保全活動に取り組めるよう、気運を醸成します。</u> ・観光客や住民に対し、ホームページや広報などを利用して自然保護の啓発活動を行い関心の輪を広げていきます。 ・豊かな自然環境の保全と、農山村にふさわしい親しみと落ち着きのある景観づくりに努めます。 ・<u>苗場山麓ジオパーク推進室と連帯しながら、広域的に自然環境の保護・保全を考えていきます。</u> <p>・希少動植物調査を継続し、統計的なデータの蓄積を図ります。 →栄村がもつ自然の里山環境を維持し、そこに自生する希少動植物の環境を保全・保護していきます。</p>	<p>21</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>耕作放棄地や手入れされていない山林、空き家も増え、美しい中山間地の風景が失われつつあります。</u> <p>【施策の展開】</p> <p><u>☆栄村の自然環境を学ぶ機会を設けると共に、住民が主体的に保全活動に取り組むための気運を醸成します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・希少動植物調査を行い、村内に生息する希少種の生息状況を<u>記録し蓄積するとともに、多様な自然環境を保全していくための方針を定めます。</u> <u>(上段へ移動)</u> ・<u>栄村を訪れる人</u>や住民に対し、ホームページや広報などを利用して自然保護の啓発活動を行い関心の輪を広げていきます。 ・豊かな自然環境の保全と、農山村にふさわしい親しみと落ち着きのある景観づくりに努めます。 ・<u>苗場山麓ジオパーク推進室などと連携し、地域住民の理解を得ながら地形、生態、文化等の自然環境の保護・保全を行い、里山環境の整備を考えていきます。</u> (削除) (削除)
<p>44</p>	<p>第1節 集落支援と住民参加</p> <p>【現状と課題】</p> <p>(追記)</p>	<p>18</p>	<p>第2節 集落支援と住民参加</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>今後の地域や集落のあり方について住民や各集落等が主体的に考え、行動することが求められています。</u>

<p>44</p>	<p>【施策の展開】 (追記)</p> <p>・村民や集落、各種団体が主体的に取り組む地域づくり活動や地域の人材育成について多面的に支援します。</p>	<p>18</p>	<p>【施策の展開】 <u>☆地域や集落を維持するための人材育成と、地域運営組織や集落ネットワーク圏の形成について、地域や集落と一緒に取り組んでいきます。</u></p> <p>・村民や集落、各種団体が主体的に取り組む地域づくり活動について多面的に支援します。</p>
		<p>22</p>	<p>新規項目 第1章 持続可能な村づくり 第6節 社会変動対応</p> <p>2 生活様式の変化と多様性の尊重</p> <p>【現状と課題】</p> <p><u>・新型コロナウイルス感染症のまん延により、新しい生活様式が普及しています。</u></p> <p><u>・少子高齢化や国際化、情報化の進展と価値観の多様化などにより、様々な個性や価値観を持った人々がいます。</u></p> <p>【施策の展開】</p> <p><u>・未知の感染症の流行などによる生活様式への対応とその徹底を図ります。</u></p> <p><u>☆年齢、国籍、障がいの有無などを問わず、村民が互いに尊重しあえる村づくりを進めます。</u></p> <p><u>・LGBTQ（多様な性と性を定めない人）に対する正しい理解を深め、誰もが尊重され自分らしく生きることのできる村づくりを進めます。</u></p>